

ことわざ・慣用句シリーズ

ここでは毎月、覚えておきたいことわざと慣用句を取り上げます。みなさんはどのくらい知っていますか？

慣用句

『足が棒になる』

意味: 足がひどくつかれて『こわばる』こと。

ひとこと: 長く歩き続けたり、立っていたりして、足が棒のように固くなること。

使い方: 落としたものを探して歩き回り『足が棒になった』。

『足もとを見る』

意味: 相手の弱みに付け込むこと。

使い方: 兄のサッカーボールを欲しがると、『兄は僕の足もとを見て』

用事をいろいろ押し付けてきた。

ことわざ

『雨だれ石をうがち』

意味: 長く努力すれば必ず報われる。

ひとこと: 雨だれが長い間かけて石に穴をあけることから。「うがち」は穴を開けるという意味。

使い方: 今日はじめたピアノは“雨だれうがち”の精神で、頑張ろう。

『雨降って地固まる』

意味: もめごとの後は、かえって前より落ち着いて「うまくいく」ものだ。

使い方: 修学旅行のグループ行動でさんざんもめたが、かえって仲良しになって

最高の旅行になった。